

令和4年8月18日	
資料提供	
担当課（室）	かつらぎ町産業観光課
担当者	商工観光係：丹田美穂
電話（代表）	0736-22-0300（内線 2212）

里人とともに守り伝える修験道はじまりの地  
 <日本遺産 葛城修験 かつらぎ版パンフレット完成!!>

和泉山脈から金剛山地までの一帯は、古くから「葛城(かつらぎ)」と呼ばれ、役行者の埋納伝説がある葛城二十八宿の経塚と寺社や祠等を巡って行う修行や行場は総称して「葛城修験」と呼ばれています。

修験者と周辺に暮らす里人には深いつながりがあり、里人は、修験者を敬い修行を支えるのと同様に、これらの場所を大切に守り伝えてきました。

そんな里人（地元の方）が思う地元のとおき（葛城修験の道、串柿、店舗など）を紹介できるパンフレットが完成しました。パンフレットを通じて「日本遺産 葛城修験」をさらに活用していきたいと思います。

1. 発行 : かつらぎ町  
令和4年8月  
※掲載データは令和4年3月時点のもの
2. 発行部数 : A4サイズ 巻3つ折り カラー 6ページ  
15,000部
3. 設置予定場所 : 町内各施設（かつらぎ町役場、四郷公民館、笠田駅・妙寺駅など）  
日本遺産構成文化財・関係個所  
（堀越癩観音・神野阿弥陀堂・丹生都比売神社・大宮神社）
4. 内容 : ・文化の交差点、かつらぎ  
・葛城修験の構成文化財と、見どころ  
・ふるさと説話、串柿コラム、立ち寄り処（飲食・お土産店）紹介  
・ウォーキングマップ、モデルコース紹介
5. 編集 : 葛城修験の道 パンフレット編集会  
構成：四郷自治振興会、堀越癩観音、四喜の会、四郷公民館、神野・大久保地区有志、町各関係課（生涯学習課（文化財・社会教育）・産業観光課）